

2026年度 天使大学卒業生に関する就職先アンケート集計結果 【看護学科】

■調査対象・期間

調査対象：看護学科2024年度卒業生の就職先

調査期間：2026年5月1日～2026年5月31日

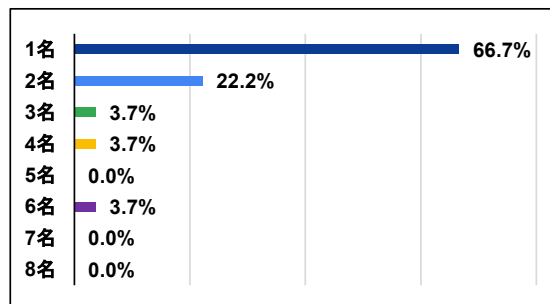
■送付・回答数

学科	送付数	回答数	回答回収率
看護学科	43	27	62.8%

■回答集計結果

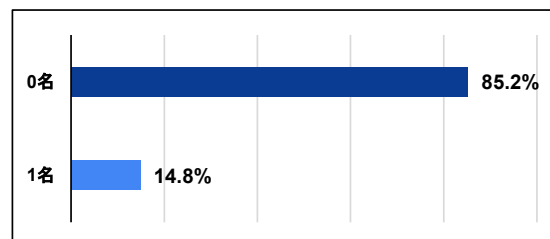
質問1 2024年度卒業生（2025年4月1日入職）における貴施設への、天使大学卒業生の就職者数をご回答ください。

1名	18	66.7%
2名	6	22.2%
3名	1	3.7%
4名	1	3.7%
5名	0	0.0%
6名	1	3.7%
7名	0	0.0%
8名	0	0.0%
計	27	100.0%



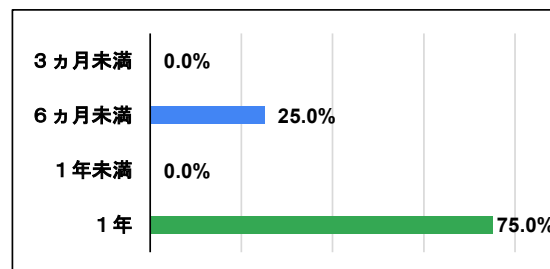
質問2 質問1の就職者のうち、離職者数をご回答ください。

0名	23	85.2%
1名	4	14.8%
計	27	100.0%



質問3 質問2で、離職者数をご記入された方、離職者の勤務年数をご回答ください。（複数回答可）

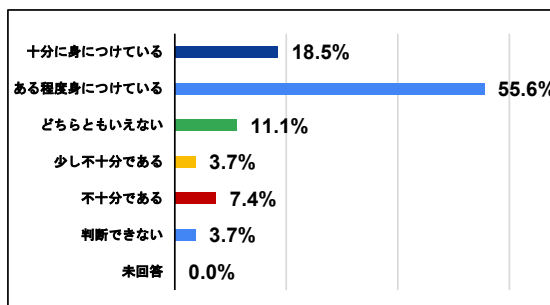
3ヵ月未満	0	0.0%
6ヵ月未満	1	25.0%
1年未満	0	0.0%
1年	3	75.0%
計	4	25.0%



質問4 天使大学の卒業生に身に付けてほしい能力が卒業後に身につけているかをお尋ねします。貴施設に就職している卒業生の能力の到達度について、あてはまる項目を一つ選んでください。卒業年度が異なる卒業生が複数名在籍している場合も、入職時の状況についてご回答ください。

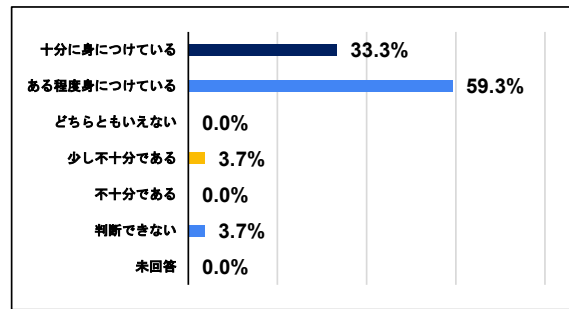
1. 看護師に必要な専門的知識と技術を修得している

十分に身につけている	5	18.5%
ある程度身につけている	15	55.6%
どちらともいえない	3	11.1%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	2	7.4%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



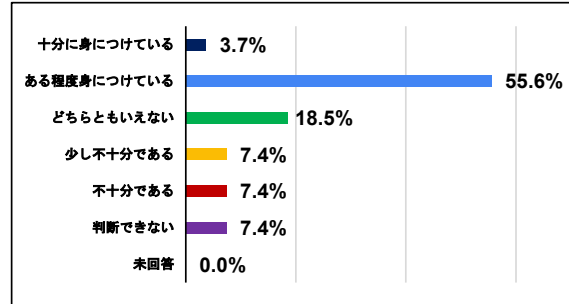
2. 援助を必要とする人に愛情をもって接することができる

十分に身につけている	9	33.3%
ある程度身につけている	16	59.3%
どちらともいえない	0	0.0%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	0	0.0%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



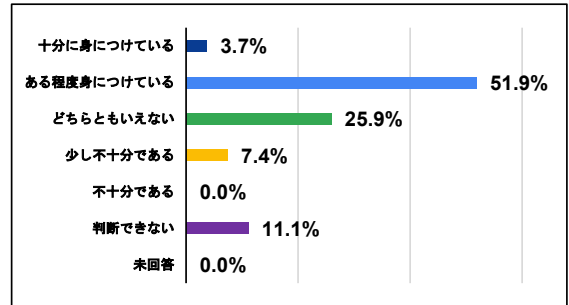
3. 社会システムを理解している

十分に身につけている	1	3.7%
ある程度身につけている	15	55.6%
どちらともいえない	5	18.5%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	2	7.4%
判断できない	2	7.4%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



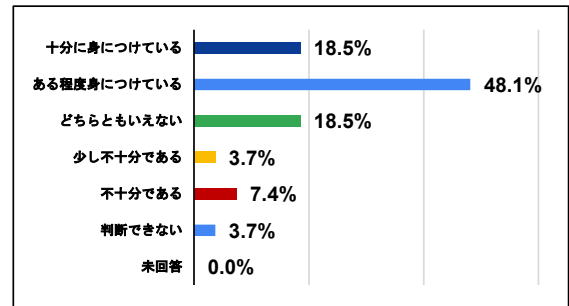
4. 社会の変化に柔軟に対応できる

十分に身につけている	1	3.7%
ある程度身につけている	14	51.9%
どちらともいえない	7	25.9%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	0	0.0%
判断できない	3	11.1%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



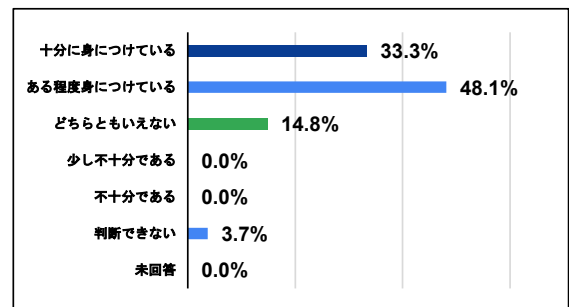
5. 自ら律することができる

十分に身につけている	5	18.5%
ある程度身につけている	13	48.1%
どちらともいえない	5	18.5%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	2	7.4%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



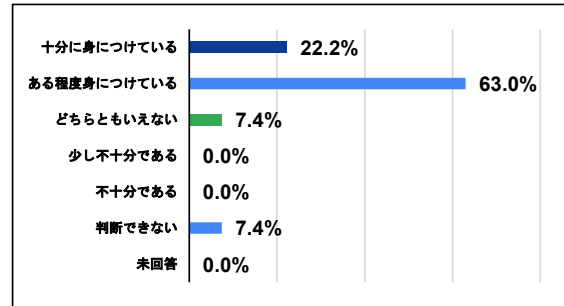
6. 他者と協力できる

十分に身につけている	9	33.3%
ある程度身につけている	13	48.1%
どちらともいえない	4	14.8%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	0	0.0%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



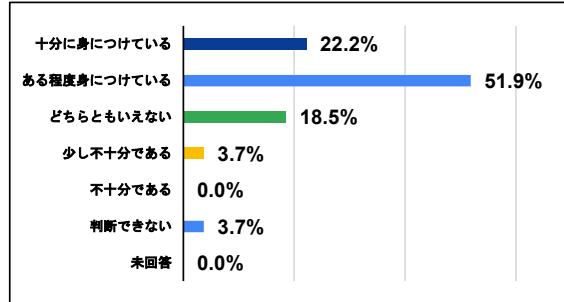
7. 倫理的配慮ができる

十分に身につけている	6	22.2%
ある程度身につけている	17	63.0%
どちらともいえない	2	7.4%
少し不十分である	0	0.0%
不十分である	0	0.0%
判断できない	2	7.4%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



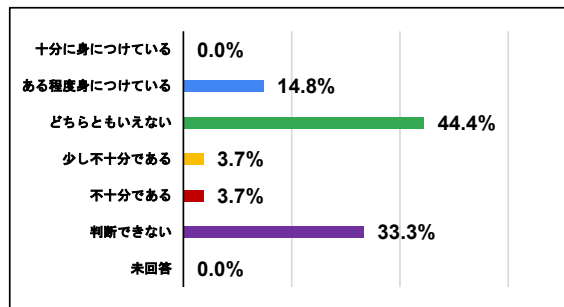
8. 責任ある行動がとれる

十分に身につけている	6	22.2%
ある程度身につけている	14	51.9%
どちらともいえない	5	18.5%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	0	0.0%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



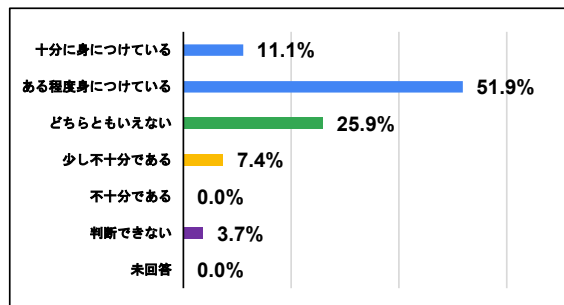
9. 国際的な視野を持っている

十分に身につけている	0	0.0%
ある程度身につけている	4	14.8%
どちらともいえない	12	44.4%
少し不十分である	1	3.7%
不十分である	1	3.7%
判断できない	9	33.3%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



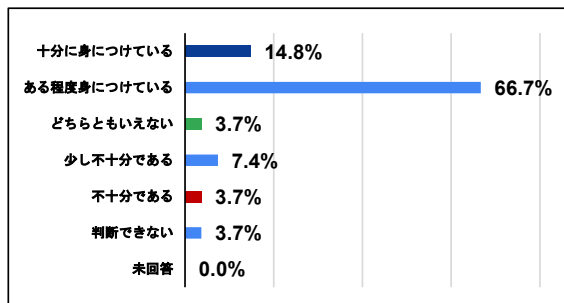
10. 多様な人々や環境について理解できる

十分に身につけている	3	11.1%
ある程度身につけている	14	51.9%
どちらともいえない	7	25.9%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	0	0.0%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



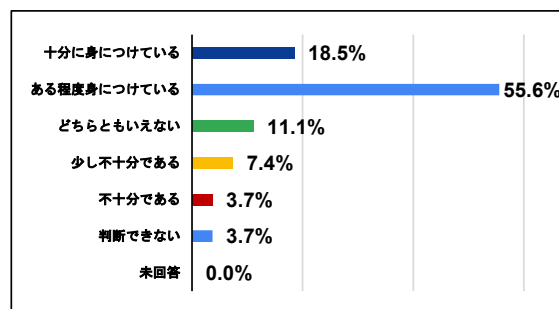
11. 自らの課題を見つけることができる

十分に身につけている	4	14.8%
ある程度身につけている	18	66.7%
どちらともいえない	1	3.7%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	1	3.7%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



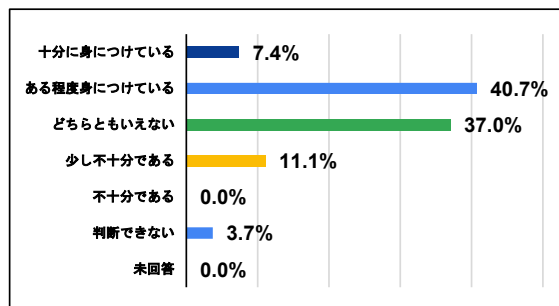
12. 目標を立てて取り組むことができる

十分に身につけている	5	18.5%
ある程度身につけている	15	55.6%
どちらともいえない	3	11.1%
少し不十分である	2	7.4%
不十分である	1	3.7%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



13. 科学的視点を持って理解することができる

十分に身につけている	2	7.4%
ある程度身につけている	11	40.7%
どちらともいえない	10	37.0%
少し不十分である	3	11.1%
不十分である	0	0.0%
判断できない	1	3.7%
未回答	0	0.0%
計	27	100.0%



質問5 天使大学での教育を通して、卒業までに身に付けてほしい能力等がありましたらご記入ください。

(自由記述)

- ・基礎看護技術、コミュニケーション能力、看護師として社会貢献への意識など。基礎看護技術では点滴ラインのプライミング、三方活栓の使い方、バイアル、アンプルカットなど。
- ・自律性、社会基礎力、看護技術力、フィジカルアセスメント力。
- ・日常生活援助全般、コミュニケーション能力。
- ・患者の思いを引き出すコミュニケーション能力、看護の基礎力、社会性適応。
- ・挨拶、コミュニケーションを自らとる力。
- ・看護師として、社会人として、大人とのコミュニケーションをとれるようになってほしい。
- ・チームワーク。特に他職種との具体的な協力場面の強化。
- ・組織にはルールがあり、一員として遵守する意思を持つこと。安全が第一であること。そのために専門職をしっかり学習し知識を得、報連相ができる教育を期待します。
- ・リーダーシップ、自律性。
- ・「発信力」 専門職として意見が言える人を増やしたい。
- ・当院の求める人材は、自立した行動ができる人・自分の考えを自由に表現できる人です。
- ・倫理観や患者と向き合うときの姿勢。最近はビジネスライクな姿勢の人も多く、「患者さんのため」が共通認識とらない事がよくあります。
- ・患者をアセスメントするという部分が少し弱いと感じる。患者を個で見えていき、病態を広げていくことに少し難渋している様子がある。
- ・貴校に限らず、基礎学力の低下、思考力の低下は顕著である。自らの学習に時間をかけない、自己認知の浅い傾向にある。AIをフル活用していることが悪いのではないが、対患者の場面で足がすくむことのないよう教育を望む。
- ・科学的な視点を持つことはできているが、遅刻などの勤務態度や敬語の使い方などの接遇が未熟である。対象者に口語を使用してしまうことが時々あり、患者と看護師の関係に影響を及ぼしている。指示されたことも、完遂できない段階のため能動的に行動することまでは求めているが、社会人としての表情や意欲などの態度を、最低限患者に不快と思われないように確保できていればありがたい。
- ・学習面は問題ありません。4月前半に体力が落ちています。天使大学だけではなく、毎日勤務することを考えて、春休みを過ごすこと。仕事をするための体力をつけておいた方が、メンタル面の落ち込みも少ないような気がします。

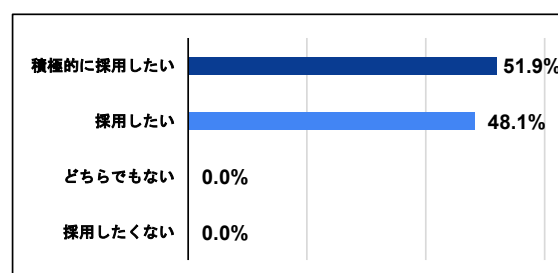
質問6 天使大学の卒業生が優れていると思うものがあればご記入ください。(自由記述)

- ・予習復習して業務につく姿勢があり、学習意欲が高い。
- ・患者の状態に対して疑問を持つ能力は優れていると感じている。
- ・個人にもよるが、学習して理解する能力。
- ・卒業生といって特別なことはありませんが、全体をみて考える力はあると思います。
- ・文章作成能力。

- ・個別的な要素もありますが、わからないことを聞く能力は高いと思います。反面、相手の状況に関係なく質問している姿もあるので、周りが見えてくるといいなあと思っております。
- ・患者さんへの関わりがとて優しく、どのような患者にも丁寧な関わりがもてる。
- ・患者への対応力、おもしろい。
- ・患者への接し方に関しては、患者に寄り添い患者の思いを傾聴している。
- ・アサーティブなコミュニケーション能力がある。
- ・教育カリキュラムを計画実施されており、当部署に配属された卒業生は看護師として業務遂行能力や対象となる患者家族との温かみのある良い関わり等が出来ており、特に優れていると実感いたしました。
- ・患者さんに対する優しさがある。その反面弱さもある。
- ・まじめで努力家が多い。
- ・落ち着きさ。
- ・礼儀正しさ、素直さ、相手の話を聞く姿勢がとても良い。
- ・2025年4月に入職した2名は、素直な人柄で誠実に看護業務等に取り組んでいると聞いてます。
- ・対人関係において非常に優れている。多重課題においても冷静であり患者および職員間でのコミュニケーションにも長けている。
- ・貴学卒業生は、コミュニケーション能力が高く、チーム医療の中で円滑に連携できる点が強みだと感じています。
- ・大学での教育か、本人自身の性格か、価値観かが判断できないが、同期と協力し合う点、分からないことを「わからないと言える」点は評価できる。
- ・急性期でも回復期でも、命・健康・生活者として関心を持っている点
- ・人間の尊厳を中心に捉える姿勢、倫理観は優れていると思います。院内研修での天使大学の卒業生からの報告では、術後の喚語困難に悩む患者の「治るの？」という問いに答えはないけれど向き合い続ける覚悟を述べた者や敗血症ショックの中、家族が「後悔のない選択」をできるように支えるという、それぞれ患者の「物語られるいのち」をどう守るかに向き合っていたり、見過ごされがちな些細な関りに大きな価値を見出していたりと、様々な語りがありました。人間愛を基盤として教育が浸透していると感じております。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・挨拶など、社会人としての姿勢や態度は優れていると感じます。また、学習や業務面でも、とても一生懸命に取り組んでくれています。
- ・積極的に業務に取り組んでいる様子が多く見られています。始めは続けられるか心配でしたが、2年目になり変化が見られました。
- ・ほかの学校の卒業生と大きな差はない。

質問7 天使大学の卒業生を今後も採用したいですか。

積極的に採用したい	14	51.9%
採用したい	13	48.1%
どちらでもない	0	0.0%
採用したくない	0	0.0%
計	27	100.0%



質問8 質問7で「採用したくない」と回答された方、理由があればお書きください。（自由記述）

回答なし

質問9 その他、天使大学の教育に関してお気づきの点がございましたらご記入ください。

（自由記述）

- ・当院は精神科病院ですが、新卒者の採用にも積極的に取り組んでおり、職員とともに成長していける職場環境を目指しております。
- また、当院に入職した貴学卒業生の経験を学生の皆さまにお話しできる機会がございましたら、ぜひ積極的に参加させていただきたいと考えております。
- ・入学に際し、面接がないとのことで、生徒の変化はあるのでしょうか。世代が変わっていく中での変化は感じています。
- ・今回の新卒者の退職は、適応できなかった訳ではありません。
- ・就職後も、大学が相談場所になることを卒業前に伝えていただけると安心すると思います。
- ・今期の当部署での入職者（1名）に限った内容かもしれませんが、もう少し積極性があると良いかと感じます。当部署での対応によるところもあるかと思いますが、教育、指導の妥当性を評価しつつ、本人と向き合っていきたいと思っています。
- ・優しい反面弱さがある学生が多い。
- ・内定辞退、面接前辞退も多く、採用にためらうことがあります。
- ・面接時の丸暗記が柔軟性を感じない学生が多い印象。自ら語れる看護師を育成してください。